

2027 年度防災教育チャレンジプラン募集 及び 2026 年度防災教育交流フォーラム、活動報告会開催

実 施 概 要

【防災教育チャレンジプランとは？】

いつやってくるかわからない災害に備え大切な命を守り、できるだけ被害を減らし、万が一被害にあった時すぐに立ち直る力を一人一人が身につけるため、全国の地域や学校で防災教育を推進するためのプランです。2004 年度から 2025 年度まで 22 年間実施しており、2026 年度は 23 回目のチャレンジプランを実施予定です。

【2027 年度防災教育チャレンジプラン募集】

1. 募集の概要

防災教育チャレンジプラン（主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会、内閣府（防災担当）、国立研究開発法人防災科学技術研究所）では、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジを支援します。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて「防災教育チャレンジプランアドバイザー（活動に対しての指導・助言を行う防災教育チャレンジプラン実行委員や、過去の実践団体等）」が出向くなどして相談などの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、防災教育交流フォーラム（中間報告会）と活動報告会（最終報告会）で実践の成果を発表していただきます。

活動報告会（最終報告会）では、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞、防災教育優秀賞、防災教育特別賞を授与します。また、皆さんのチャレンジプランの成果はホームページなどで広く公開します。

2026 年度は、防災教育チャレンジプランも 22 年目を迎えることから、これまでの実績と課題を踏まえ、新たな防災教育チャレンジプランとして、これまで応募側で自由にテーマを設定していましたが、時代のニーズを捉えた、①「学校・地域連携」、②「デジタル等、企業の技術を用いた防災教育」を重点テーマとして設定します。

《支援主体》

- 防災教育チャレンジプラン実行委員 および 防災教育チャレンジプランアドバイザー
- 防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
- その他、実行委員・アドバイザー等が紹介する諸団体

《支援内容》

- プランの実践にかかる経費を提供します。（査定により、上限 30 万円）
※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。
- 防災教育交流フォーラム（中間報告会）・活動報告会（最終報告会）発表者への交通・宿泊費を内閣府の仕様書に基づき支給します。（1名×3 回分）
- プランの実現に向けて、実行委員会が認定する「防災教育チャレンジプランアドバイザー」が対面・オンライン問わず助言や現地指導等の支援を行います。
- 防災活動の手法・事例の収集と活動情報の発信ができる Web ツールを提供します。

《表彰》

- 活動プロセス及び成果に対して審査を行い、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を決定し、表彰状と盾を授与します。
- 防災教育チャレンジプランの「サポーター」として認定します。

2. 応募資格

- 防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設（保育施設・幼稚園・学校等）、教育委員会、NPO、民間企業、個人等、地域団体（民間事業所、各種団体、行政機関）であること。
- 採択された場合は、現地開催・オンライン開催問わず実践団体決定会、中間報告会、活動報告会の計3回の会合に出席できること。
- オンライン開催の場合、参加可能なインターネット環境（通信回線、機材、アプリケーション等）を用意できること。

3. 応募区分

- A. 学校（保育園、大学等） B. 地域団体 C. 民間団体 D. その他（個人等）

4. テーマ区分

- ① 防災教育を継続・定着させるためのチャレンジ
- ② 防災人材を育成するためのチャレンジ
- ③ 火山防災教育のチャレンジ
- ④ その他のテーマ（①～③以外）

5. 応募方法

ホームページ（<http://www.bosai-study.net>）より事前登録後、応募用紙に必要事項を記入の上、事務局へ提出します。

《主な記入内容》

- 学校・団体等の概要（名称・代表者名・住所等連絡先）
- 現在までの防災教育に関する取り組み内容・成果・課題 ※無ければ、空欄可
- 応募動機
- プラン概要（活動・予算計画書）

5. 応募締め切り

2026年11月（予定）

6. 審査

防災教育チャレンジプラン実行委員会の選考により決定します。

《審査の観点》

- プラン実施により地域防災力の向上に貢献できること
- 応募された防災教育プランの有効性・新規性
- 活動の中に新しいチャレンジの要素が含まれているもの

《次年度チャレンジプランの決定・発表》

- 活動報告会の会場にて、次年度チャレンジプランの計画を発表いただきます。

7. 応募先・問い合わせ先

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局

E-mail : cpinfo2865@bosai-study.net

【2026 年度 防災教育交流フォーラム開催】

開催日 : ① 2026 年 10 月 17 日(土)または 18 日(日) 防災教育交流会

② 2026 年 10 月 10 日(土) 中間報告会

会 場 : ① エースパック未来中心、鳥取県立美術館周辺（開催日及び会場は 7 月末頃決定）

② オンライン開催

①は「ぼうさいこくたい 2026」とあわせて開催し、会場である鳥取県倉吉市において防災教育関係者によるパネルディスカッション（意見交換会）を行います。また、意見交換の様子は後日 YouTube でアーカイブ配信を行います。

②は 2026 年度実践団体と実行委員をはじめとした参加者との実践活動にまつわる情報交換会を行います。

● 専門家、関連省庁、学校、地域、団体等による意見交換

● 2026 年度チャレンジプラン実践団体による中間発表

【2026 年度 防災教育チャレンジプラン活動報告会開催】

開催日 : 2027 年 2 月 13 日(土)

会 場 : オンライン開催 (予定)

2026 年度実践団体による 1 年間の活動の成果発表と表彰、2027 年度チャレンジプランの発表を行います。

無料ライブ配信行い、一般の関心のある方の視聴を広く募集します。

●2026 年度チャレンジプラン成果発表・表彰

(防災教育大賞、防災教育優秀賞、防災教育特別賞の決定)

●2027 年度チャレンジプラン決定・発表

【公衆衛生（感染症）対策】

イベント開催時等において、マスクの着用をはじめとする症等の公衆衛生対策の実施は、参加者個人または各所属団体の判断を基本とします。

会場入口や会場内にはアルコール消毒液を設置し、手指の消毒が行えるようにするほか、定期的な換気、共有設備の消毒等、有効とされる対策を実施します。

「ぼうさいこくたい 2026」とあわせて開催する防災教育交流会は、新型コロナウイルス感染状況により現地開催から完全オンライン開催に変更するなどの対策が実施される可能性があります。その場合は、ぼうさいこくたい 2026 運営事務局の方針に従うこととします。

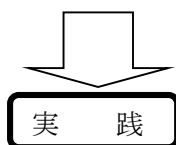
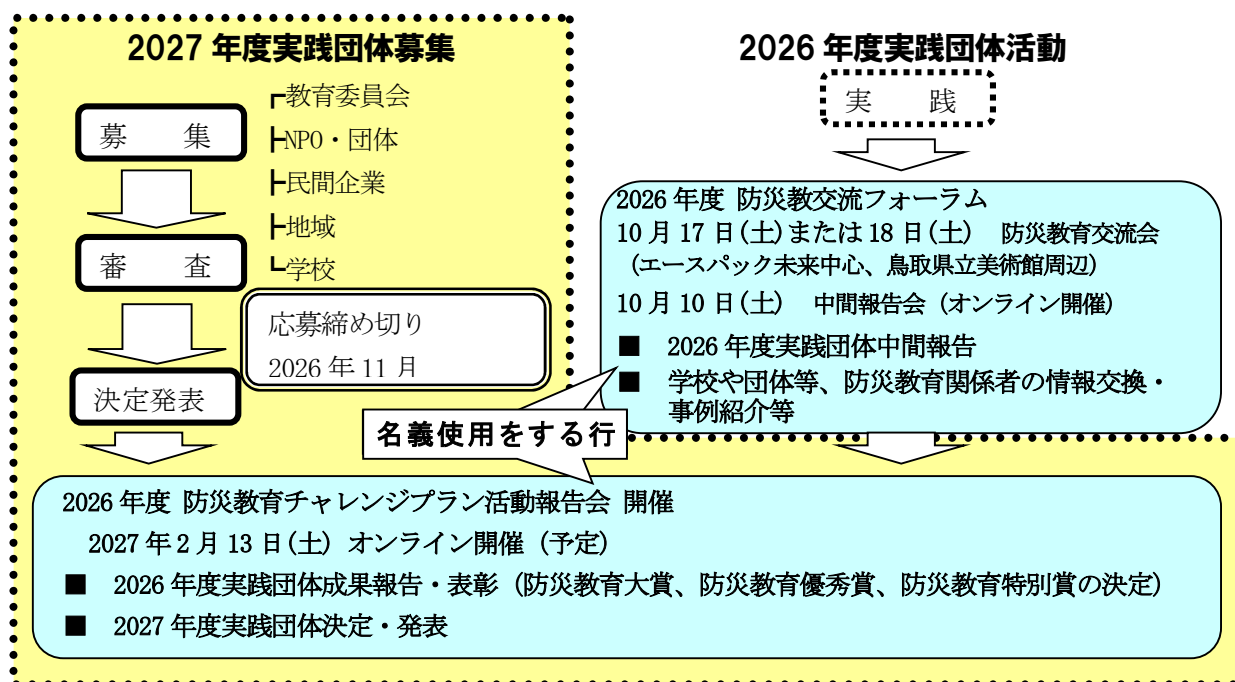
【名義の使用方法】

ポスター、チラシ、ホームページ、メールマガジンによる情報提供などにおける記載、防災教育交流フォーラムや活動報告会会場における掲示、配布資料への記載などで使用します。

【他の名義使用依頼】

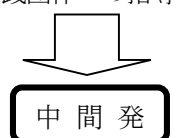
消防庁・文部科学省・国土交通省・全国知事会・全国市長会・全国町村会・日本赤十字社・全国都道府県教育委員会連合会・公益社団法人日本 P T A 全国協議会

防災教育チャレンジプランの流れ



2026 年度 防災教育チャレンジプランの実践 2026 年 4 月～2027 年 3 月

- 支援内容
 - ・ プランの実践に係る経費の提供
 - ・ 実践団体への指導・助言を行うアドバイザーの紹介・派遣等



2026 年度 防災教育チャレンジプラン 中間報告会開催 2026 年 10 月

- 交流会による防災教育に取り組む団体や防災教育関係者の意見交換
- 2026 年度実践団体中間報告



2026 年度 防災教育チャレンジプラン 活動報告会開催 2027 年 2 月(予定)

- 2026 年度実践団体成果発表・表彰
(2026 年度防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定)
- 2027 年度実践団体決定・発表